



志中の風

『自主』『友愛』『奉仕』

令和4年2月22日発行

吉田松陰の教育理念「華夷(かい)の弁(べん)」

校長 長元 武彦

1月18日(火)・19日(水)に「鹿児島学習定着度調査」が実施されました。本校も1・2年生が受検しました。「志中の風」今月号で結果の概要をお知らせしますが、全般的にまだまだ学力が県平均に及ばない状況にあります。朝読書の一部を朝自習に振り替えたり、授業の中で振り返りの時間を設定し、「わかる」が「できる」になるまで取り組んだりしてきましたが、結果として取組は不十分であったと反省しています。この実態を踏まえ、私たち教職員は学習内容の定着に向けて、ICT機器を含めた学習指導法の改善など、一層の努力が必要であることを自覚しています。

さて、吉田松陰が江戸時代末期に、設置した松下村塾(しょうかそんじゅく)をご存知でしょうか?長州萩城下の松本村(現在の山口県萩市)に物置小屋を改造した粗末な塾舎で、わずか1年余りの間だけ開催された私塾です。その短い間、吉田松陰が同塾で指導した中から、幕末より明治期の日本を主導した久坂玄瑞、高杉晋作、伊藤博文など多くの人材を輩出しました。

安政3年(1856年)、吉田松陰は「松下村塾の記」を書いています。そこには松陰自身の教育理念が強く打ち出されています。その理念とは「華夷(かい)の弁(べん)」を明らかにすることです。簡単に説明しますと、自分の生まれた土地にコンプレックスを抱く必要はなく、その場所が世界の中心であると考え、そこで腰を据え励めば、そこが「華」になるという考え方です。松陰の松下村塾の理念として掲げた「華夷の弁」とは、山口県萩松本村(本州最西端に近い山陰の一隅で、不便なところ)という辺境の劣等感を克服し、そこに優れた文化的な環境を築き上げようという誇り高い信念のことです。都会から遠く離れた農村や漁村に生まれても、そこを世界の中心と考え、その場所に腰を据えて努力する心構えなのです。松陰は、『教育というものは、今学んでいる場所こそが世界の中心であり、腰を落ち着かせて取り組むことが大切である』と、考えていたのです。

後に「松下村塾グループ」と言われた人たちの生命力の根本は、自分や自分が生まれ育った場所に誇りをもつということでした。「やがて天下を奮発振動させる多くの人材は、必ず松下村塾から生まれるであろう」と、松陰は絶大な自信と誇りをもって未来を予言し、そして実現させました。

志布志は辺境の地ではありませんが、志布志に生きる私たちはここ志布志が「華」であると信念をもって取り組み、必ずや志布志から優れた人物を輩出するという決意を持つてはいませんか!

本校生徒のテスト前の家庭学習は、どの学年も取組時間が120分に届かないなど、まだまだ足りない現状です。各家庭で学習以外のメディア9時オフを守らせ誘惑に負けないよう自制させながら、家庭学習も充実させていただき、自信をもって取り組ませるようご協力をよろしく願います。

生徒会「ピンクシャツデー」の取組

本校では、生徒一人一人がいじめについて真剣に考え、決して許してはならないという強い意志を発信してきました。今年も、いじめを許さない環境づくりを目的として、生徒会主催による「ピンクシャツデー」の取組をしました。全校生徒は、2月17日(木)にTシャツ型のピンク色の紙にメッセージを書きました。生徒たちの作品は、まず2月24日(木)から3月2日(水)にかけて靴箱付近に掲示し、その後は3月25日(金)の修了式まで各学級に掲示する予定です。これからも、いじめを始め人権侵害に関わる行為が本校で発生しないよう、学校、家庭、地域の三者が連携して見守って参りましょう。

第5回学校運営協議会

2月3日(木)の午後2時から、本年度最後の学校運営協議会を校長室で開催しました。重点的に協議されたのが、授業でのタブレット端末の活用についてでした。Wi-Fi環境が整っていないオフラインでも、家庭で取り組める学習などが話題に上りました。協議会の提言を受け、現状の中で、子どもたちの学習を保障するために、今後も最大限の努力を重ねて参ります。

なお、学校運営協議会での審議内容等は、本校ホームページにも掲載されています。



新1年生への入学説明会

1月24日(月)の午後、本校へ進学を予定している小学校6年児童を対象とした入学説明会を実施しました。これは、入学前に中学校生活に対する不安を取り除き、目標をもって取り組もうという意欲をもたせることを目的として、例年この時期(尚志館高校入試日)に実施しているものです。今年は、コロナウイルス感染症対策のため、会場を分散し、体験授業は実施しませんでした。潤ヶ野小学校、田之浦小学校、森山小学校と校区外の小学校は、本校パソコン室に於いて説明会を実施し、中学校生活、給食費の納入方法やタブレットを始め情報端末の使用についての注意点等の話をしました。同時に、志布志小学校、香月小学校と安楽小学校へは、本校職員が訪問して、体育館等で説明させていただきました。不明な点などがございましたら、遠慮無く本校へお問い合わせください。

コロナウイルス感染症対策のお願い

本校では、1月24日から26日にかけて1・2年生を、2月11日から13日にかけて2年生を、それぞれコロナウイルス感染症感染拡大防止のため学年閉鎖にしました。まん延防止法の適用期間も3月6日まで延長されました。オミクロン株は感染力が強いので、まだまだ油断できない毎日が続きます。ご家庭でも引き続き、手指消毒や部屋の換気など感染症防止に努めてください。

リモート授業加速に向けての職員研修

2月17日(木)の6校時、リモート授業を想定した職員研修を行いました。タブレット端末を用いて、離れた場所にある端末ともつながっての授業の在り方等についての研修でした。

コロナウイルス感染症対策として、本格的にリモート授業を加速して参ります。承諾書の提出など、保護者の皆様のご協力を、よろしくお願い致します。



【3月の主な行事予定】

※ 現時点での予定です。諸状況により変更があり得ますので、あらかじめご了解ください。

3日…公立高校入試(1日目)、2年クラスマッチ
4日…公立高校入試(2日目)、1年クラスマッチ
10日…3年クラスマッチ

鹿児島県学習定着度調査の結果

1月18日・19日に実施された標記の調査について、鹿児島県、志布志市と本校の結果が出ましたので、以下にお示します。

	国語	社会	数学	理科	英語
1年					
県差					
県					
市					

	国語	社会	数学	理科	英語
2年					
県差					
県					
市					

全教科で、県の平均通過率を下回る結果となりました。学習内容が定着しきれていない要因の一つとして、既習事項を定着させる時間が不足していることが挙げられます。授業中での練習問題や確認テストへの取組をすすめるとともに、家庭での学習時間を確保してください。本校では、家庭での学習時間を、1日あたり120分、テスト前は「学年+1時間」と設定しています。「学問に王道なし」と言われるとおり、学力を身に付けるための近道は存在しません。一步一步、地道な努力を積み重ねる者だけが、学力を向上させていきます。学習した内容は、その日の内に復習し確実に身に付けさせるよう、各家庭での見届けをお願いします。子どもたちが希望する進路を実現させられるよう、連携し取り組んで参りましょう。



放送・プレゼンソフトによる生徒集会

2月15日(火)の朝は、コロナウイルス感染症対策のため、放送とプレゼンテーションソフトを用いた生徒集会を実施しました。生徒たちは、各教室で放送を集中して聞き、プレゼン画面を見入っていました。感染状況が好転し、一日も早く、体育館での集会ができることを祈っています。



12日…卒業式予行
15日…第75回卒業式
21日…春分の日(祝日)
25日…修了式、離任式

